



佐々木 英徳 議員



心不全予防について

問 吹田市は心不全予防のための啓発動画を作成し、市民が心不全の予防に努めることができるよう支援している。また、公式ウェブサイトでは、心不全予防に関する情報や生活習慣改善のポイントが掲載され、市民に分かりやすく周知されている。同市の取り組みについて伺う。

答（健康推進部長） 吹田市の取り組みは、同市内にある国立循

環器病研究センターと共同で行っている。古河市としては、生活習慣病を予防することから心不全予防の対策を実施していく。健診で生活習慣を見直し、栄養バランスのよい食事や適切な運動等に多くの方が取り組んでもらえるよう推進していく。

子どもにやさしいまちづくりについて

問 子どもたちは皆、かけがえない可能性をもった宝で、一人一人が希望の存在である。子どもにやさしいまちづくりのため、現在、そして未来へと、可能性と希望に溢れる、誰にでもやさしいまち古河市を目指すべきと考える。市長の考えを伺う。

答（市長） 大人中心の発想や基

準で進められてきたまちづくりに、子どもの視点を加えることで誰にでもやさしいまちづくりになる。また、子どもや若者にとって自らの意見が取り入れられる経験などは、社会の一員としての主体性を高めるため、子どものときから社会経験を積む機会を多く創出することが必要である。子どもや若者と共に社会をつくるパートナーとして語らい、協働する認識を持つことが、こどもまんなか社会実現の第一歩であると考えている。



鶴見 久美子 議員



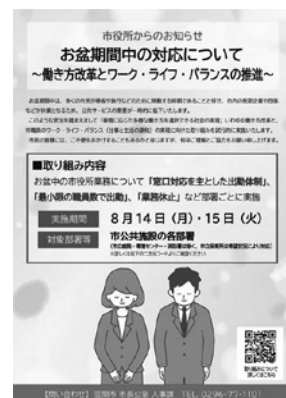
職員の働き方改革について

問 人口減少に伴う生産年齢人口の減少、共働き世帯や在宅介護家庭の増加などで、従来の長時間労働が難しくなっており、これまでとは異なる働き方のニーズが高まっている。働き方改革により「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくことで、仕事も私生活も充実する。①市職員の働き方改革の現状と進捗、検証について。②市職員の働き方改革の現状と進捗、検証について。笠間市の時差出勤の拡充とお盆中の働き方改革に

ついて②職場の休憩スペースの確保と環境づくりの現状、今後の取り組みについて伺う。

答（総務部長） ①年2回、古河市職員ワークライフバランス推進委員会を開催し、取り組みの進捗管理や、年次休暇取得日数などの目標値に対する現状把握に努めている。笠間市のように、お盆期間中の一部業務休止や業務関連以外で時差出勤を可能とする制度の運用面の拡充を検討する。②休憩スペースが確保できていない庁舎があり、空き会議室などを利用しているのが現状である。令和7年開館予定の総和地域交流センターでは、庁舎機能にない部分を補完するというコンセプトも兼ねており、スペースを有効に利用できるよ

う職場の環境改善に努めたい。



笠間市の働き方改革HPより

福祉サービスについて

問 窓口業務支援ツール「軟骨伝導イヤホン」導入について、課題と所見を伺う。

答（福祉部長） 有効なツールだが、使用頻度や費用対効果等、窓口の状況を見て検討したい。